

Taka Gikai

多可町議会だより

2025年(令和7年)11月1日 第80号



多可高生と
小中学生の交流会



歌舞伎の
練習場が欲しい



エアコンの設置を

私たちと歩む 新しい一歩
多可町の未来を創る



恋人の聖地を
建立してpart2

第10回
高校生議会



JOBトライやるの
地域拡大



17時以降に
多可高前までバスを



加西市から
多可町までバスを

9月定例会

- ・持続可能な「むらづくり」への挑戦② 6
- ・大型投資の検証と持続可能な財政への道筋 10

「通学」から始まるまちづくり

17時以降のバスを多可高校前まで

ほりばみさき
堀場美咲議員

Q 朝のバスは多可高校前まで運行されますが、帰りのバスは多可高校口までしか来ません。17時以降は利用者が少ないため、小型バスで多可高校前まで乗り入れることで、部活帰りの生徒の利便性を高めてほしいです。

橋尾 17時以降、西脇市駅行きのバスは多可高校口から乗車となります。これは補助路線と車両配車の都合によるもので、大型バスが高校前まで上がるのは困難です。高校口のバス停をご利用ください。

もっと便利に、もっと安全に
高校生が提案する移動革命

スクールバスの導入を

はましあい
濱嶋愛議員

Q 遠方からの生徒の金銭的負担軽減のため、スクールバスの導入と補助金を提案します。これにより通学環境が改善され、多可高校への入学者増加が期待できます。保護者の送迎負担も軽減し、安全な通学が実現します。

藤原 多可町としてはスクールバス導入への対応は難しい状況です。生徒会で要望意見書を作成し、学校長やPTAを通じて兵庫県へ働きかけてはいかがでしょうか。

私たちの声で走るバス
多可町の未来を乗せて

加西市から多可町までのバスを

つだこうたろう
津田孝太郎議員

Q 加西市から自転車通学は大変で、特に雨の日は車での送迎負担があります。加西市から多可町へのバス路線があれば、安全な通学が確保でき、多可高校の生徒数増加にもつながるため、新設を希望します。

吉田 多可町と加西市を結ぶバスは現在買い物や通院向けです。過去の利用者減少で路線が縮小され、自治体の財政負担から通学用バス新設は困難です。加西市から八千代区のバス停まで自転車に来て、バスで高校まで通うことも検討してください。



雨の日は大変 ー多可高校口バス停ー

暑さも寒さも乗り越える

バス停の設備充実を

Y・K議員

Q バス待機スペースが狭く、悪天候時は不便なため拡張を希望します。快適性向上のため、屋根やベンチ、冬季の暖房機能も提案します。安全で快適にバスを待てる環境を整えてください。

門脇（保） 多可高校口のバス停は設備が不十分なため、生徒の安全確保が課題です。待機スペース拡張は困難ですが、屋根やベンチ増設を関係機関と協議し、安全で便利なバス停にするため検討を進めます。

私たちの声が まちの力になる

令和7年8月8日、第10回多可町高校生議会を開催しました。

主権者教育の一環として始まった高校生議会は、今や多可町の夏の風物詩となっています。高校生議員たちは大人顔負けの鋭い質問や若者ならではの斬新な視点から問いかけをし、自信を持って再質問ができました。答弁席の議員たちにも緊張が走る白熱した議論が展開され、議場全体が熱気に包まれました。

普段は高校生の彼らが議員として堂々と立つ姿に、明日の多可町を担う希望を見ることができた記憶に残る一日となりました。

未来の多可町を共につくる

小中学生との交流会の開催

ささくらすずは
笹倉紗羽議員

Q 多可高校の入学生減少を食い止めるため、多可町の小中学生との交流会を提案します。「あすみる」や多可中学校の交流棟を利用し、部活動体験や学習支援を通して多可高校の魅力を伝えたいので、町と協力して交流の機会を設けてほしいです。

清水 多可高校生からの交流会提案を評価します。議会として「あすみる」や多可中学校交流棟の活用を町に働きかけ、多可高校の魅力発信や地域資源を活用した交流の場を創出します。多可高校存続に向け、地域全体で取り組みます。

加美中学校の体育館活用

おおにしおん
大西心温議員

Q 全国的にも珍しい木造の加美中学校体育館を、青年の家やグランピング施設として活用することを提案します。交流イベントや伝統文化体験の場とすることで、多可町の魅力と木造体育館の存在を広め、地域活性化につなげてほしいです。

廣畑 貴重な木造建築である加美中学校体育館の活用は、さまざまな課題から町が直接活用することは困難です。民間事業者の公募をする時に、グランピング施設の提案を盛り込み、活用者を募集する予定です。

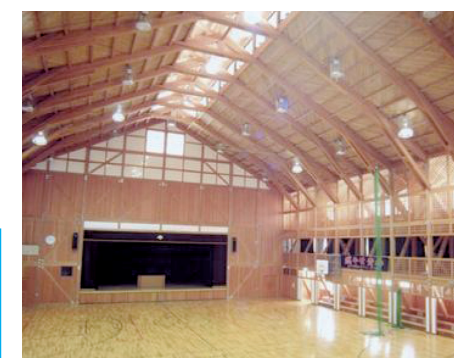
地域で輝く若者の力

JOBトライやる 地域拡大

はましあい
濱嶋愛議員

Q 多可高校の職業体験「JOBトライやる」は現在、多可町内の事業所のみですが、興味のある職種がない場合もあります。西脇市の事業所も選択肢に加え、生徒がより自由に職業を選べるよう、西脇市での実施をご検討いただきたいです。

足立 「JOBトライやる」は、就業体験を通じた多可町の企業を知ってもらうための事業です。多可町外への拡大は、事業の目的に反するため、商工会は想定していません。町は情報提供などで支援します。

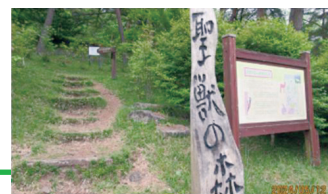


全国的にも珍しい木造の加美中体育館



JOB トライやる (株) 足立織物

多可町の隠れた魅力を掘り起こせ



恋人の聖地を建立してpart2

ふじおかけいた
藤岡桂太議員

Q 2年前の多可町高校生議会で提案された「恋人の聖地」について、その後の進捗を知りたいです。ラベンダーパークなどを活用し、恋人や夫婦が楽しめる映えスポットを創設することで、SNSを通じた多可町のPRにもなるため、ぜひご検討ください。

笹倉 2年前の提案を受け、ラベンダーパーク多可をロマンチックな空間にすべく、年末までに展望台付近に釣り鐘を設置する予定です。冬にはイルミネーションも計画し、地域活性化と少子化対策につなげます。多可高校生のSNSでのPRにも期待します。



歌舞伎の練習場が欲しい

おおにししおん
大西心温議員

Q 播州歌舞伎クラブの練習場所は土足利用の大会議室のため、衛生面や衣装・小道具の保管場所に課題があります。専用の練習場や保管場所を設けてほしいです。それが難しい場合は、お掃除ロボットの導入をご検討いただきたいです。

門脇（教） 「あすみる」大会議室での練習は、掃除ロボットの使用も可能です。衣装や道具の保管場所もできるだけ近くに集約できるよう検討します。木材を多く使った施設で新たな歴史を重ねてほしいです。



濱嶋議長



大西議長

高校生がデザインする快適空間



バス停にミストの設置を

ふじおかけいた
藤岡桂太議員

Q 多可高校前のバス停は、異常気象による暑さで熱中症のリスクがあります。生徒が涼しくバスを待てるよう、バス停へのミスト設置を希望します。安全な待機環境を整えてください。

市位 バス停での熱中症対策ミスト設置は、民間事業者や関係機関との協議が必要で困難です。命に関わる暑さのため、エアコンのある校舎内でバスを待ち、出発時刻に合わせてバス停へ向かうようお願いします。

エアコンの設置を

ささくらひろと
笹倉大翔議員

Q 多可高校の二号棟にはエアコンがなく、特に部活動の教室が酷暑のため、熱中症の危険があります。生徒の安全を確保するため、二号棟へのエアコン設置を希望します。

藤本 多可高校二号棟のエアコン設置は、生徒の健康管理上重要であり、町も必要性を認識しています。県立高校のため町から県教育委員会へ要望を伝えます。県の教育改革の動向も注視し、課題解決に努めます。

長時間の待機も安心して
異常気象時代の通学サポートを



酷暑に負けない学校づくりを
エアコン設置で安全な部活動を

甘い提案で地域を支える



アイス自販機の推進

Y・K議員

Q 高校近くのアイス自販機の増設と品揃えの充実を提案します。需要を把握するため、アンケートなどで利用実態を調査したいです。自販機の利益を地域貢献につなげる仕組みを作り、増設をご検討ください。

大山 5年度に設置されたアイス自販機は、町ではなく業者に依頼したものです。議員提案のアンケート調査は興味深いです。自販機の増設は業者に掛け合ってみようと思います。



小さな利益を大きな貢献に
アイス自販機で地域づくりを



高校生議会10年間の歩み～若者の声が創る多可町の未来～

今年で10回目を迎えた多可町高校生議会は、単なる模擬体験を超えた実践的な主権者教育の場として発展してきました。

これまでの成果は目覚ましく、高校生の質問で通学バスの定期補助制度を創設、バス停整備、通学路安全対策が実現。特に「多可高生の発表機会がほしい」という声から生まれた「多可フェス ヤングロック」は、北播磨地域の若者文化の拠点となっています。

若者の意見政策提言へ

今年の高校生議会で提案された意見をまとめ、9月2日の定例会初日の開会前に吉田町長に政策提言として手渡しました。

- ① 地域教育連携強化政策
- ② 伝統文化継承・活用政策
- ③ 地域資源保存・活用政策



この10年で学んだのは、若者の声には社会を変える力があるということ。高校生たちは議会を通じて「自分たちの意見が形になる」体験を積み、将来の地域づくりの担い手として成長しています。

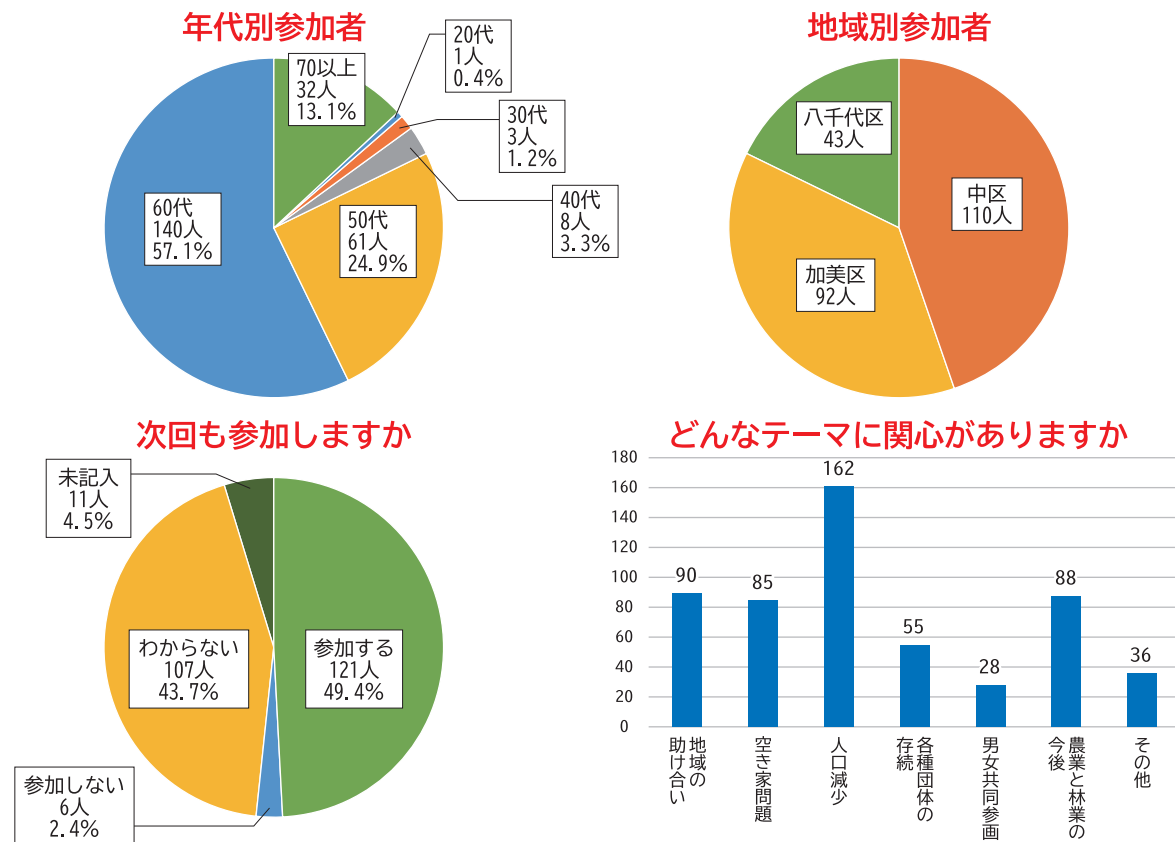
民主主義の根幹は住民参加です。高校生議会は若者に「声を上げることの大切さ」と「夢は実現できる」ことを伝え続けています。

この貴重な取り組みを今後も発展させ、多可町の明るい未来につなげていきます。

地域の声から描く持続可能なまちづくり

7年5月12日から7月23日までの約2ヶ月半にわたり、町内24会場で「議員と気軽に語る会」を開催しました。各会場では活発な意見交換が交わされ、多可町の現状と課題、そして未来への期待に率直なご意見をいただきました。また、全会場で参加者アンケートを実施し、定量的な分析もしました。

語る会



アンケート・自由意見

議員と気軽に語る会への感想

- 普段本音を聞く機会がなく刺激になった。
- 話せば話すほど厳しさを感じた。

具体的な施策・地域要望

- 多可町の魅力をアップしてほしい。
- 農業の町づくりを進めるべき。
- 小中一貫校を考える時。

会の運営・進行に関する意見

- テーマが大きすぎる。
- 会にもっと参加者を。
- 複数の課題があるため深掘りが必要。

今後の政策への期待・提案

- いろいろな意見を伝え、町政に生かして。
- 10年後こんな町になりますというイメージ（計画）を知らせる努力を。
- 議員数の見直し、議員報酬アップ。

人口減少・高齢化などの課題・認識

- 人口減少対策を町が一番に取り組むべき。
- 少子化・高齢化・移動手段の確保。

議会・意見交換会に対する評価・要望

- 継続が大切。
- 意見を集約し、町政へ反映を。

住民と共に歩む議会づくり

今回の「議員と気軽に語る会」を通じて、多可町議会には住民の皆さんとの距離を縮め、より開かれた議会運営の第一歩を踏み出すことができました。住民の皆さんから寄せられた貴重なご意見は、多可町の持続可能な発展に向けた道筋を示す重要な指針となります。多可町議会は、今後も住民の皆さんとの対話を大切に、住民に寄り添う議会として、地域課題の解決と町の発展に全力で取り組みます。

持続可能な「むらづくり」への挑戦②

議員と気軽に語る会

突出した政策を

7月4日（金）中三原・上三原



- 何か特徴がある施策がないと、横並びの施策ではだめ。
- 女性の参加が少ないので増やす方が必要。
- 若者に農業をしてもらうため宅地や農地の支援が必要。

ICTやAI技術を活用

7月3日（木）中安田・東安田

- 地域の魅力を再発見し外部に発信する取り組み（YouTube、SNS）を。
- 村の役職や地域活動の担い手不足は深刻。高齢化で役割が一部に偏っている。
- ICTやAI技術を活用し、住民の意見収集や政策提案に役立てるべき。



地域ネットワークの構築

7月17日（木）大屋・坂本・中村



- ライドシェアや住民同士の乗り合いといった新しい交通支援の導入を。
- 中区への施設集中が進んでいて、八千代区・加美区への配慮が不足。
- 住民同士がつながり合い、支え合う「地域ネットワーク」の構築が必要。

定年後のUターン促進

7月9日（水）熊野部・岩座神・棚釜・多田

- 集落の公民館の老朽化が課題、新築の場合約1億円かかる。
- 移住希望者に対し「田舎暮らしの魅力」を積極的に発信することが必要。
- 都市部に出た集落出身者の定年後のUターン促進を。



町営住宅の子育て世代への活用を

7月23日（水）仕出原・下野間

- 町営住宅が子育て世代に活用されていない。子育て世代を追い出すような施策はやめるべき。
- 現在の議員定数（14名）は人口規模に見合っていない。議会のスリム化が必要。
- 多可町は安定した岩盤層があり、データセンターなど最先端産業の誘致を。



誰もが安心して暮らせるまちづくり 6年度決算



評価

- ✧ 元気あつが広場（いきいき百歳体操）
介護予防と地域のつながりを深め
お互いを見守る体制作り

年度	R3	R4	R5	R6
集 落	18	19	25	28
会 場	21	21	27	32

- ✧ 地域共生社会づくり
コークゼミ修了生を中心とする39名の有志委員による
「新しい地域コミュニティ準備委員会」を実施（9回）
「RMPまちづくり宣言」作成



- ✧ マイナンバーカード保有率
R 6 15,334人 保有率80.9%（全国平均78.2%）

- ✧ 山田錦生産システム 日本農業遺産登録
山田錦の発祥のまちとして「山田錦」を核とした農業振興
歴史を伝統として未来へ継承

- ✧ TAKA Fes YOUNG ROCK 2024
高校生議会から実現した音楽フェス
北播磨の高校生バンドがベルディーホールで演奏

- ✧ 町税徴収率 毎年アップ
現年度分 R 5 99.26% R 6 99.42%
繰越分 R 5 26.32% R 6 27.74%

- ✧ あすみる（Asmile）竣工
生涯学び続けられる生きがいあふれるまちづくり
図書館、交流施設、大会議室の機能を備え、まちづくりの
拠点施設として位置づけられた複合施設
アクティブルーム・キッズスペース・ワークショップ
スペース設置

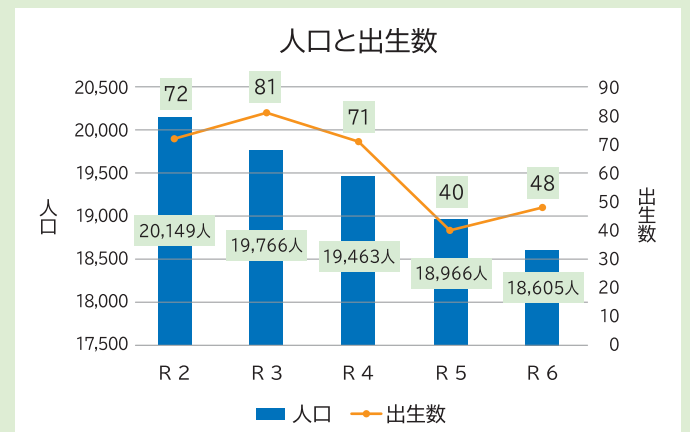


問われるのは「住む人」を 増やす次の戦略



課題

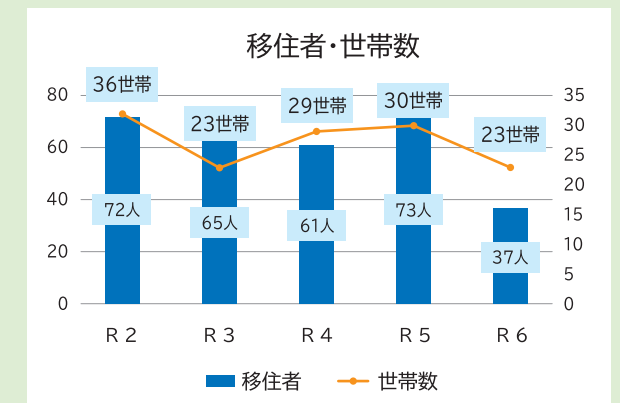
- ◆ 人口減少（1月1日時点）
平成18年 25,183人→令和7年 18,605人
（合併から19年間で6,578人減少）
- ◆ 高齢化率
平成18年 24.8%→令和7年 39.4%
（合併から19年間で14.6%アップ）
- ◆ 出生数
平成18年 192人→令和6年 48人
（合併から19年間で140人以上減少）



- ◆ 町税 20億円割れ
人口減少と定額減税の影響で
税収が減少

年度	R4	R5	R6
町税	20億9594万円	21億4685万円	19億6807万円

- ◆ 移住定住
R 2 72人・36世帯 R 6 37人・23世帯
空き家バンク新規登録 R 3 50件 成約43件
R 6 30件 成約18件
コロナ禍明けも要因



- ◆ ふるさと納税減少
R 6 14,912件 2億7,294万8千円
R 5 16,161件 3億1,346万7千円
前年度比 4,051万9千円減少

- ◆ LINEを活用したフレイル予防
デジタル田園都市国家構想交付金 5,859万円
登録者数 73名 活用者数 数名

大型投資の検証と 持続可能な財政への道筋

6年度決算認定

令和7年9月2日から9月26日までの25日間の日程で第135回多可町議会定例会を開催しました。定例会では6年度各会計決算認定や7年度各会計補正予算のほか、条例改正、バスシエルター建設工事や多可中学校の工事請負変更契約、多可中学校の家具什器類の財産取得、請願などの議案が提出されました。35案件が提案され、慎重審査の結果全ての議案を可決しました。

財政は大丈夫か

一般会計は149億円
6年度は「あすみる」「統合中学校」「新ごみ処理施設」建設などで大きな出費となりました。

年度	種別	歳入	歳出
R5	一般会計	127億3816万円	123億1988万円
	特別・公営企業会計	86億3463万円	89億4176万円
	合計	213億7279万円	212億6164万円
R6	一般会計	149億4425万円	146億8244万円
	特別・公営企業会計	91億2313万円	92億3601万円
	合計	240億6738万円	239億1845万円

財政基盤が弱い多可町で7年度も続く大型事業の中、財政の安定が求められています。

財政指標はどうなっていますか。
経常収支比率は90%で前年より0.2%減、実質公債費比率は11.2%で0.7%減です。将来負担比率は4.2%と悪化しています。

全体としては問題ありません。
大型事業の償還が始まる5年後は、どう予想していますか。
今よりは悪化しますが、健全な状態を保てるように注視していきます。

今日より 輝く未来へ

あすみる開館
22億9564万円
生涯学習まちづくりプラザ「あすみる」が令和7年4月にオープンしました。



現在の利用状況は、

少子高齢化の進む中ですが、あすみるには赤ちゃんから高齢者まで、大勢の人に来ていただいています。

また、図書館の利用も順調で学生たちも多く訪れています。
多可中学校の開校後は多くの生徒が利用すると想定しています。

統合中学校建設

6億6702万円
令和8年4月開校に向けて工事は進んでいます。

周辺整備も進んでいるのですか。
7年度に大半の工事の完成を予定しています。
あすみるとの一体運用はできるのですか。
中学校には地域交流棟もできますので、相互連携して子どもから高齢者までが気軽に利用できる施設運用を目指しています。

暑さ寒さは 無縁

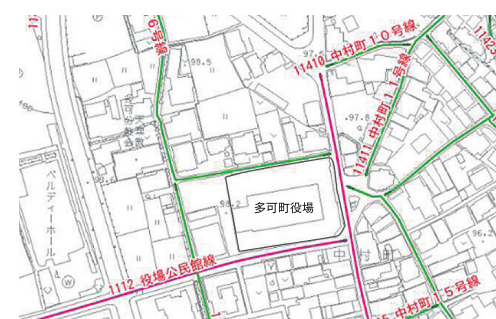
八千代プラザ
エアコン設置
2900万円
老朽化していた空調設備を全て入れ替えました。

工事中は住民に不便をかけたものではありませんか。
寒い時期の工事でしたので、空調が使えず、工事期間前後も予約をお断りしていました。



あなたのスマホが まちの案内人

公開型GISたかみる
4381万円
町が所有する各種地図情報をインターネット上に公開し、誰でもパソコン・スマートフォン・タブレットなどで閲覧できるシステムです。



現在、どこまで公開されているのですか。
防災情報（ハザードマップ）・地番参考図（土地の情報）・認定路線網図（町が管理している道路）・地形図（地域の様子）・上下水道情報です。

今後の公開予定は、
バスの運行情報、多可町の魅力が詰まった観光情報、歴史を感じた文化財の情報も公開していく予定です。
デジタル技術を活用した住民サービスの向上と、町の情報の見える化を実現します。

賛成討論

菅倉 政芳
健康性を保った決算

大型建設事業は、町の将来への戦略的投資であり町民の資産形成につながるものです。
厳しい財政環境の中でも健全性を保ちつつ、将来への必要な投資をしたと評価し本決算認定に賛成します。

予算反映と 透明性を担保する

多可町議会はあすみるや統合中学校などの大型投資に対し、継続的な効果検証をしています。

人口減少下の費用対効果を分析するため、施設の利用状況と維持管理費の適正性を定期的にチェックしていきます。

町は限られた財源の中で、費用対効果の低い事業は見直し、広域連携や「たかみる」などデジタル技術を活用した定住促進策、自主財源確保を優先すべきです。

決算審査の指摘事項が次年度予算にどう反映されたかを追跡し、議会報告会などを通して透明性を高めることで、持続可能な町の未来に向けた戦略的な議論を深め、政策提言につなげます。

いつもの買い物 3割増しで助かる プレミアム付商品券

6150万円
物価高騰や燃料高から住民の暮らしを守るため、30%のプレミアム付商品券を販売しました。

何セット販売したのですか。
3721世帯に対して、17668セット販売しました。

どれくらいの経済効果があったのですか。
約2億3000万円の効果があつたと考えます。



地域共生社会づくり 地域の課題 解決に向けて

コークゼミ修了生を中心とする39名の有志委員で立ち上げた「新しい地域コミュニティ準備委員会」が活動しています。

この1年間での具体的な成果は。
課題解決のためRMP（地域運営広場）まちづくり宣言」を作成して活動しています。



「いどばたかいぎ」盛り上がってます

大切なわが家を守る 防犯対策

特殊詐欺対策
高齢者のいる家庭の詐欺対策に電話機購入の補助をしました。



特殊詐欺対策の電話機ですが、どれくらいの世帯が利用しましたか。またその効果はあったのですか。
電話機148台、外付け器3台で151世帯の利用がありました。

録音機能が、詐欺の抑止力になっています。

新しい学び舎 まもなく完成

3つの歴史が織りなす 多可の未来がここから始まる

工事請負契約・条例改正・請願

多可の未来を創る『拠点』

工事請負契約

バスシエルターなどの

設置工事

7667万円

有限会社吉川商店

工事請負変更契約

統合中学校

建設費の追加

総額50億6990万円

株式会社ソネット

中学生が利用するバスターミナルに、バスシエルター3カ所を設置します。
Q 風よけやベンチなどは設置しますか。
A ベンチの設置、待合所の整備を検討します。

統合中学校建設工事の変更契約です。地盤改良・防犯カメラ・照明設備・空調機器変更などで5940万円を追加します。
Q 防犯カメラは何台追加しますか。
A 4台追加します。



多可中学校 いよいよ春に開校

未来を創る多可の学び舎となることを期待しています。

議会運営委員長
笹倉 政芳

Q 照明設備は必要なのですか。
A 部活動の地域展開を見据えて追加します。
Q なぜ空調機器が変更されるのですか。
A 冷媒ガスR410Aが使えなくなるためです。

財産の取得
中学校備品の購入契約
8127万円
オージヤ商事株式会社

多可中学校の新規購入品として2614点を購入します。
Q すべての新品になりますか。
A 使えるものは各中学校から持ち寄り使います。



多可の資源を未来へつなぐ

農村婦人の家

中安田集落に譲渡

多可町農村婦人の家条例を廃止して、建物を中安田集落に譲渡します。

この施設は、長らく味噌の加工施設として活用してきました。

Q 味噌作りは、できなくなるのですか。
A 集落で引き続き管理して作っていただきます。

女性グループの居場所づくりの場や、農事組合が加工場の利活用も検討されています。



オートキャンプ場に活用

ココロン那珂

コテージ4棟撤去

コテージは建設から33年が経過し、設備の老朽化が進んでいます。特に老朽化が著しいコテージ4棟を解体撤去して、跡地をオートキャンプ場にし、施設をスリム化します。11月から取り壊し工事にかけられます。

働きかた改革 仕事と育児の両立

職員の勤務時間、休暇等に関する条例と育児休業等に関する条例改正

仕事と育児の両立支援制度の利用に関する職員の意向確認などの措置が義務づけられています。

主な改正点は部分休業の柔軟化や会計年度任用職員への育児休業制度の拡大です。

えん罪をなくせ

請願

刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める請願

確定した有罪判決に重大な誤りがあった場合、これを正してえん罪被害者を救済する「再審制度」の明文化が求められています。

えん罪は本人や家族の人生を破壊し、命すら奪う深刻な人権侵害です。えん罪を防ぎ、発生した場合は速やかに救済することは国の責務であり、再審制度はそのために重要な役割を果たします。

三審制で確定した判決であっても、誤りがあれば是正できる仕組みが必要です。

意見書を採択

刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書を議会は採択し、国の関係機関に提出しました。

意見書

本意見書は、えん罪被害者の迅速な救済のため、刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を国に強く求めるものです。

現行の再審法は規定が不十分で、特に捜査機関の証拠開示に制度的保障がないこと、また検察官の不服申立てが審理を長期化させていることが、人権救済の妨げとなっています。速やかな法改正による確固たる手続規定の整備を訴えます。

賛成討論

制度の早急な

改善が必要

橋尾 哲夫

現行の再審制度は、裁判所が再審開始決定を出しても従わず、裁判の長期化をもたらしています。

諸外国と比較しても異常で深刻です。早急な改善が必要です。

えん罪を防げ

市位 裕文

無実の人を誤った裁判から救済するため、再審における検察の情報の全面開示、再審開始決定に対し検察の不服申し立てを禁止するほか「刑事訴訟法の再審規定」の改正を求めるものです。



男性も育児休業を



再審制度の
改正を求める
請願

農家と家計を二重で支援

第134回臨時会



水田営農継続支援金 1012万円
肥料などの資材価格高騰や米不足で、水稲農家の生産コストが上昇しています。農家の負担を軽減し、営農意欲を維持することで、持続可能な農業経営と米の安定生産、農地の維持を支援することを目的とします。

水稻生産者 全力サポート

令和7年7月24日に第134回多可町議会臨時会を開催しました。一般会計補正予算が上程され、審議の結果、原案どおり可決しました。

多可町の宝、山田錦を守っていけるような政策を。

広報編集委員長 廣畑 幸子



Q 支援金はこれまでと同じですか。
A うるち米が1000円で山田錦は1500円です。
Q なぜ500円の差があるのですか。
A うるち米が高騰する中、できるだけ山田錦を作ってもらうため差を付けました。



希望者全員にプレミアム付商品券 450万円
当初は応募の結果、予算を超過した場合、セット数を調整する予定でしたが、応募全世帯に希望セット数を販売します。
Q なぜ変わったのですか。
A 地方創生臨時交付金が追加交付され、販売できるようになりました。
Q プレミアム付商品券の申込数はいくらずか。
A 全体で4407世帯、12896セットです。

7月・9月補正予算			
歳出	款	7月	9月
一般会計	総務費	450万円	1236万円
	民生費	356万円	7万円
	衛生費		571万円
	農林水産業費	1012万円	4億8788万円
	商工費	120万円	220万円
	消防費		1180万円
	教育費		8億6500万円
	歳出合計	1938万円	13億8502万円
特別会計		7739万円	62億7175万円
公営企業会計		77万円	36億3083万円

※予算金額は補正のあった科目のみです。合計は現予算の総計です。

門脇保文議員 SNSで経歴詐称
議長より厳重注意
門脇保文議員がフェイクブックで学歴、居住地を詐称していたことが判明しました。議長から令和7年9月1日に、以下の厳しい叱責を受けました。「この行為は議会の品位と権威を著しく損ない、町民の信頼を完全に裏切る許し難い背信行為である。議会全体の信用失墜は断じて看過できない。議長として強い憤りを表明する。この重大な過ちを深く反省し、二度と不祥事を起こさぬよう、直ちに議員としての自覚と責任を取り戻し、猛省の上、職務に専念することを厳命する。」

思い出を胸に 未来を拓く

学び舎は公園へ 新しい『集いの場』へ

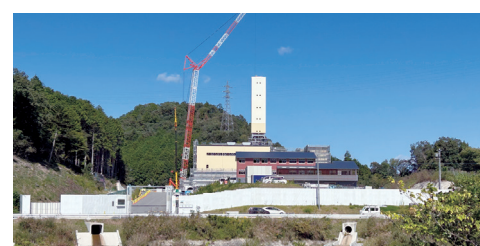
補正予算



さよなら校舎 中町中解体
中町中学校解体撤去費 8億6500万円
中町中学校は体育館を残して他の建物をすべて解体する方針です。解体後の利用方法は。
A 多可中学校建設地が都市公園区域であったため、代替地として解体後は都市公園として整備し、住民が安全に集い、健康づくりの拠点として利用できる場に生まれ変わります。

賛成討論
合併特例債を活用し事業化
藤本 一昭
来年閉校する中町中学校の解体撤去工事が計上されています。財源は合併特例債を活用しての財源措置です。有利な起債を活用しており、予算を有効活用することを願います。

Q 解体費が高すぎるのではないですか。
A 校舎が非常に古く、アスベストを多く含んでいるため解体費が高くなります。
Q 解体費の財源は。
A 今年度で最終年になる合併特例債を活用して、財政負担を軽減します。



この施設からの余熱を有効活用します

熱のチカラで 地域を元気に
余熱利用施設整備費 3億8900万円
新ごみ処理施設から発生する余熱の有効利用と、近接する遊休農地の有効活用をするために余熱利用施設を整備します。
Q どのように整備していくのですか。
A 余熱エネルギーを利用した新たな資源循環モデルで地域農業の拠点となる施設整備のため、敷地造成や河川代替工事をします。

賛成討論
余熱利用施設整備の早期完成を
藤本 一昭
余熱利用施設は計画して長らくの間、関係機関との調整に苦勞し許可を得て準備が整いました。河川工事部分の財源を公共事業債で賄うことができ、当初の工期で見事に竣工することを願うものです。

Q 整備した土地はどうなりますか。
A 施設整備をする事業者売り渡し、農業用施設の整備をする計画です。地域の農産物の生産体制を強化する基盤となり、地域の農業を支える役割を果たすことが期待されています。

施設は役割を終える ネイチャーパーク
かさがた解体撤去費 9600万円
令和7年3月末で営業を終了したネイチャーパークかさがたを解体します。
Q 活用する事業者は無かったのですか。
A 利用者の減少や施設の老朽化などの要因から、利活用する事業者は無く、地元集落の了解を得て解体撤去が決定しました。

事業者に赤字補填 指定管理者支援金 300万円
エーデルささゆりの指定管理者に300万円を支援します。
Q なぜ、赤字補填するのですか。
A 10月から指定管理者が変わるため、事業精算を伴う特別措置です。



Q. 活力あるまちを目指せ

A. 人口対策を進める



おおやまよしろう

大山由郎 議員

Q 活力あるまちを目指すためには、地域課題の把握、明確な目標の設定が必要です。

町長 課題は、人口減少と若年層・女性の流出です。子育て支援、雇用促進などで、人口対策を進めます。

Q 特産品、豊かな自然、気候、風土、歴史、文化など多くの資源があるわが町の地域資源の棚卸しをすべきです。

町長 産業や自然を活用した事業を推進しています。また地域資源も活用します。



まつりは楽しいな

Q 資源の有効活用のために、人材育成は必要不可欠です。

町長 コークゼミの修了生など多様な人材で、地域の支援や集落の補完ができる仕組みづくりを進めます。

Q さらに活性化する取り組みのために、外部機関との協力関係を築くことが大切です。

町長 甲南女子大学などと連携事業を進めています。そして適時さまざまな団体との連携を検討します。

Q. 一人世帯増加への対策は

A. 要支援者別避難計画を準備



ふじもとかずあき

藤本一昭 議員



日々の確認が大事

Q 一人世帯は5年前の国勢調査では38%を占めています。未婚者の増加、離婚や未婚における単身者などに加えて高齢の単身者が増加しています。今後さまざまな課題と向き合い、住民のニーズに対応することが求められます。

特に災害時や急病時に支援が届きにくい現状です。単身者への連絡網や安否確認システム、防災計画の位置づけが必要ではありませんか。

町長 一人世帯に対して災害時、緊急時の支援体制は、集落自主防災組織で取り組んでいます。防災訓練で、自助、共助の観点から、避難所で支援が必要な要支援者の参加や、平常時に要支援者の個別避難計画を作成し、円滑な避難計画を確立していきます。

また、緊急通報システムの利用も可能であり、緊急時の連絡や相談対応に活用しています。

ここが聞きたい!!

議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに町長と教育長に方針を問います。

質問議員	質問要旨	掲載ページ
大山由郎	活力あるまちを目指せ	17
藤本一昭	一人世帯増加への対策は	
	公共財産の管理規定を元に跡地利用の計画を（未掲載） 余熱処理施設の工事の実施計画は（未掲載）	
橋尾哲夫	八千代グラウンドの熱中症対策は	18
	シニアクラブに対する支援策の強化を（未掲載） 高齢者（シニア）施設は（未掲載）	
廣畑幸子	公共施設に生理用品の常備が必要	19
	指定避難所の環境整備を（未掲載）	
門脇教蔵	白内障手術後の眼鏡購入補助を	20
清水俊博	多可町強靱化地域計画は（未掲載）	
	熱中症から住民を守れ	
門脇保文	地域計画の取り組みは	21
	低所得者への給付を（未掲載） 「敬老の道」の早期実現を（未掲載）	
市位裕文	バス停の熱中症対策が必要	22
吉田政義	人口減少時代のまちづくりは	
藤原清勝	人権課題の解消はできるのか	
足立吉継	リチウムイオン電池の処分は	22
	部活動を核とした多可高校と町の活性化（未掲載）	
笹倉政芳	公民館のエアコン設置に緊急補助を	22
	国道175号につなぐトンネル整備を（未掲載）	



Q. 白内障手術後の眼鏡購入補助を A. 公平性と効果をみて考える



かどわきょうぞう
門脇教蔵 議員

Q 人生100年の長寿社会が到来し、今後、白内障手術が増えると推測します。そこで、65歳以上の7割がかかるといわれている老人性白内障の人に、手術後、視力回復のため必要とされる補助眼鏡などの費用を助成することで、高齢者福祉の増進につながるのではないのでしょうか。

町長 高齢者の白内障手術は、高額療養費制度などで自己負担の一定の抑制となりつつも、生活の質や安全運転の継続に直結する重要な医療と認識しています。手術を受けられた全ての人への一律の補助が妥当かは、術後の視機能回復状況や処方内容、医師の意見書による必要性の有無など、個別性を丁寧に精査する必要があります。公平性と効果の観点から、助成の必要性和制度設計の方向性を取りまとめ考えていきます。



かすんです



Q. 八千代グラウンドの熱中症対策は A. 総合的対応が重要



はし おてつ お
橋尾哲夫 議員

Q ガルテン八千代グラウンドの熱中症対策は万全ですか。40程度の猛暑日が続いています。土曜、日曜日には少年野球や少年サッカー、高齢者がグラウンドゴルフの練習をされています。練習中に体調不良者も出ています。大きな事故は起きていません。具体的には東屋を増設するか、プレハブの小屋を建て、そこに簡易ひんやりボックスを設置し、早期に熱中症対策をすべきです。

町長 連日の猛暑は屋外スポーツに重大な健康リスクをもたらします。参加者の安全確保が最優先です。東屋の設置だけでは危険を回避することは困難です。むしろ、大会、練習の見合わせなど、総合的対応が重要です。管理棟には保冷剤、東屋には扇風機の配置など、現場での予防と迅速な応急処置が中心となります。



東屋は涼しいな

Q. 熱中症から住民を守れ A. 利用促進などに取り組む



しみずとしひろ
清水俊博 議員



Q 北はりま消防組合管内での熱中症搬送は399人で昨年度比10%の増、さらに搬送後に3人が死亡。まさに酷暑です。国でも熱中症警戒アラートを法律に位置付け、公共施設などをシェルターとして開放を求めています。熱中症から命を守る対策では特にリスクの高い高齢者、若年者に対し①的確な情報を伝える行動を促す②エアコンなどの環境の整備③ウェアラブル端末での見守りの充実など総力で具体的な取り組みが必要です。

町長 「酷暑日」これまでに経験をしたことがない異常な気候が続きます。特に近年増加傾向の独居高齢者、若年者などは、適切な対処策が分からずに重大事態になることが危惧されます。適切に知り行動する・備える・デジタル技術を味方にするなどが大切です。特に「生命維持装置」ともいえるエアコンの利用促進などに取り組めます。

※ウェアラブル端末とは：身体に装着して使用する小型のIT機器の総称



Q. 公共施設に生理用品の常備が必要 A. 実証もしながら対応を考える



ひろはたさち こ
廣畑幸子 議員



Q 4月にオープンしたあすみるは、公共施設の中でも、幅広い年齢層が多く利用している施設です。児童生徒はもとより若い年代の人たちも数多く利用しています。施設を快適に利用してもらうためには、もしもの時の対応に生理用品の常備が必要と考えます。

町長 公共施設利用時に生理用品が無くて困ることは、起こり得ると認識しています。しかし、常備には、無料配布するのか有料にするのか、また各施設でどう対応するかなど考察する必要があります。内部で調整し実証もして、現実的な対応を考えていきます。



ここに置いてほしいわ



Q. 人口減少時代のまちづくりは A. 持続可能なまちづくりを進めている

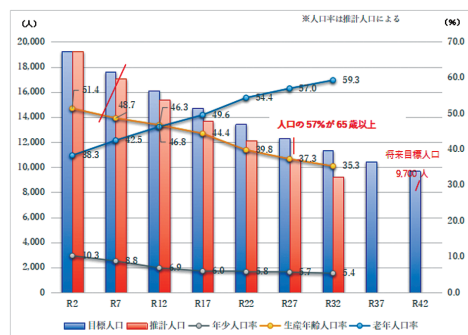


よし だ まさよし
吉田政義 議員

Q 2020年から30年間で、20歳から39歳の若年女性人口の減少率が50%を超えると予想される自治体を、消滅可能性自治体といいます。多可町も1307人から382人に減少予想です。

町の2006年1月の人口は2万5183人で、今年8月では1万8342人です。

今後、自治体は、人口の奪い合いではなく、自治体の特徴や長所を大切に、子どもを産み育てたいと思える環



将来人口推計

境づくりが大事です。人口減少時代のまちづくりを問います。

町長 移住・定住の促進、子育て・教育の充実、雇用・産業の強化、生活基盤の維持を柱に、人口減少を前提とした持続可能なまちづくりを進めています。また、子育て世帯の流出抑制に取り組めます。

町としても、小さくても持続可能で、子育てしやすく、いつまでも働ける環境を備えた選ばれる町を目指しています。



Q. 地域計画の取り組みは A. 地域での話し合いが重要



かどわきやすふみ
門脇保文 議員

Q 高齢化が進み、農地の維持管理ができなくなり。また、若者も減少する中、町内の全集落の地域計画が策定され、10年後の農地利用を目指すべく「農地中間管理機構」の貸借が開始されました。今後農業を離れる者が増えると予想されますが、効率的な営農を進め、農地の多面的機能や地域社会を維持する必要があります。

この制度を町づくりの一角としてどのように検討したのですか。



来年は作れるかな

町長 地域計画に基づき、地域の農地の集約・集積化を進めることが大きな目的の一つです。特に、河川、ため池、水路、井堰などの水利の適切な管理が不可欠です。

そのため地域計画に基づいて、地域の実情や環境の変化に応じて随時の見直しをお願いしています。

将来にわたって農地を守っていくために地域での話し合いが重要です。

Q. 人権課題の解消はできるのか A. 誰もが関心を持つべき問題



ふじわらせいしょう
藤原清勝 議員



Q 法務省から本年度は、18の人権課題が啓発活動の重点課題として示されています。その中の、

⑩刑を終えて出所した人及びその家族に対する偏見や差別をなくそう

⑪犯罪被害者及びその家族の人権を配慮し、うは、加害者と被害者の人権配慮について述べられています。本当にこの二つの人権配慮は両立させることができるのでしょうか。

町長 刑を終えて出所した人の社会復帰を促すための理解と関心を深めること。

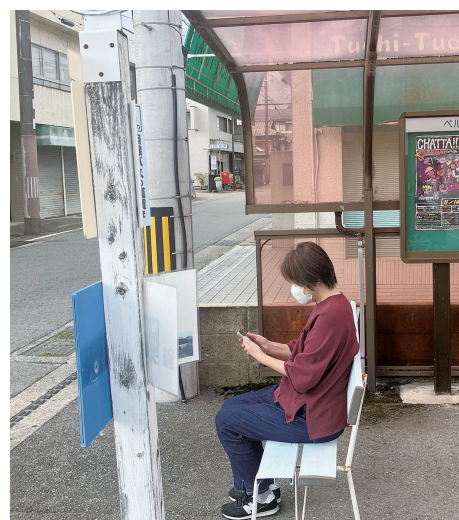
犯罪被害者やその家族の立場に寄り添った理解を広げること。

そして、それらを含めて人権課題に誰もが関心を寄せ、解決に向けて行動するべき重要な問題であるという意識を国民一人一人に持っていていただくことを目指して示されたものです。

Q. バス停の熱中症対策が必要 A. 時刻表に合わせたバス利用を



いち い ひろふみ
市位裕文 議員



バス停は暑いわ

Q 異常な暑さの中、庁舎横のバス停や中村町のバス停などで長時間待たせられる住民の姿を見ると、熱中症の事故が起こらないか大変心配です。

学校現場も扇風機が当たり前でしたが、今はエアコンが当たり前です。予算上、困難と言われていましたが、命には代えられません。

住民を守るため、バス停にもミスト対策が必要。高齢化が進み、公共交通の充実が

必要です。

町長の所見を伺います。

町長 バス停で長時間待つというのは、危険な行為です。クーリングシエルトはあきらめるやアスファルト、地域局など4カ所にあります。その他、役場のロビーなどを利用したり、近くに金融機関、スーパー、コンビニなどがある場合は、こうした事業所にバス停の待合の協力を呼び掛けていきます。



世界はひとつ

＼ 毎号好評のひと褒めコーナーを特集します！ ＼

照れるね ひと褒め

中学生の硬式野球の指導をしています。

彼らの熱い眼差し、一体感、粘り強さを目の当たりにすると、時代は変わりましたが、情熱は昔も今も変わらないと感じさせられます。

素晴らしい選手15名を預けて頂いた保護者の皆様に感謝します。

豊部 藤本明宏
曾我井 徳平敬介
豊部 萬浪裕人

先日、長らくあっていたいなかった孫から私のスマホに「ばうば運動会来る？」と、かわいい笑顔でライン電話がかかってきました。仕事で疲れていたのになんだか元気が出てきました。子ども夫婦の気遣いもとてもうれしかったです。

(H・H)

役員改選のとき、それぞれの役を受けて下さって唯々ありがとうございます。できるだけ協力したいと思っています。

(C・O)

「それ、いいね。」職場での一声で、みんな笑顔に！

ひと褒め条例のおかげで、職場の人間関係もバッチリです。

(M・F)

朝に目覚め今日一日を元気にすごせてありがとう。頑張っているね。身近に出来る体操をコツコツ重ね、明日の朝も元気に起きましよう。

(C・O)

Q. リチウムイオン電池の処分は

A. 分かりやすい表示に努める



あ だちよしつぐ
足立吉継 議員

Q 全国的にリチウムイオン電池の火災が増加しています。本町でも防災・環境の観点から早急な対応が求められます。8年度には新みどり園が稼働予定ですが、

①北はりま消防組合での火災発生状況
②現行の処分体制
③新施設での受入体制
④町独自の広報・回収の取り組みを伺います。

町長 北はりま消防組合では、令和5年から7年8月までの間にリチウムイオン電池が原

因とされる火災や救急出動は発生していません。処分方法は購入店での引き取り、または絶縁処理のうえ不燃ごみの日に出す形です。新みどり園でも現行と同様の受け入れ体制となる予定です。

町では広報たかやアプリなどで周知を進めるとともに、住民に分かりやすい表示や動線の工夫に努めます。

なお、消火ハッチ付きパッカー車も導入予定です。



これで安心 12月に導入予定のパッカー車

Q. 公民館のエアコン設置に緊急補助を

A. 現時点では難しい



ささくらまさよし
笹倉政芳 議員

Q 今年の夏は、もはや災害レベルの暑さでした。災害時の一時避難所となる集落公民館にエアコンが設置されていない所は熱中症などの二次災害が発生する危険性が高まります。今ある補助制度ではいずれも集落要望での順番待ちです。待ったなしのエアコン設置に緊急補助制度で対応するべきです。

町長 別枠の補助制度は財源をどうするか課題もあり、現時点では難しいと考えます。



真夏、扇風機だけでは心配

Q 新型コロナの交付金のように、国、県での臨時の措置などに期待したいところです。

現在メニュー化している補助制度の活用を周知していきます。

Q 補正予算が難しいのであれば、早急に各集落の実態を把握し、緊急な対応を確認することは行政の責務です。

総務課長 生活安全課と連携し集落との話し合いを通じて、もしものことがないような対応を検討していきます。

議会を見よう

この機会に、ぜひ多可町議会公式ホームページをお訪ねください。
過去の会議録やお知らせをご覧ください。

https://www.town.taka.lg.jp/takacho_gikai/



Facebookでは、委員会などでの議員たちの様子をご覧ください。



YouTubeでは、本議会での質問や発言をノーカットで公開しています。



－ 次回定例会の予定 －

12月定例会〈本会議の日程〉
初日 12月4日(木)
2日目 12月17日(水) 一般質問
3日目 12月18日(木) 一般質問
最終日 12月25日(木)

●質問内容などは12月12日に議会ホームページに掲載します。
●傍聴は役場4階へお越しください。
●請願・陳情の提出は11月19日17時までに提出ください。
*ご不明な点は議会事務局にお問い合わせください。

ムダをなくしサービスを守る

第4次行財政改革

6年度の実施状況の報告がありました。

本実施計画は全60項目から成り、そのうち達成項目は45項目で、前年度より4項目増加し、達成率は75%となっています。

分野別では「組織体制づくりと職員意識改革」で7項目中5項目、「健全な財政運営」



効率的でありながら柔軟な行政運営を

で42項目中31項目、「住民協働による連携」で11項目中9項目が達成されました。

主な取り組みは、職員定員や人件費の抑制、能力開発の推進、自主財源の確保、住民参画の拡大などが挙げられ、着実に成果を上げています。

今後は未達成項目の改善に加え、実施計画の進捗や成果を町民に分かりやすく示すことが求められます。

課題を共有する「見える化」を一層推進することが求められます。

委員長
藤本 一昭



捨てない熱 活かす未来

余熱利用施設整備建設に着手

余熱利用施設整備事業は、西脇多可行政事務組合が建設中の新ごみ処理施設で発生する燃焼熱を温水として有効利用するため、多可町中区徳畑に余熱処理施設を建設するものです。

事業用地は約3・3ヘクタールの農地で、7年度末から造成や河川工事に着手し、約



この地を有効活用 — 徳畑 —

2年間の工期で整備が進められます。

完成後は、環境に配慮した循環型農業施設の整備用地として活用され、農業基盤の強化と効率化が推進されるとともに、地域の持続可能な農業振興に役立つことが期待されます。

余熱利用で環境配慮型の取り組みを進め循環型社会へ。

副委員長
門脇 教蔵



多可町で暮らす まずは町営住宅から

定住推進課

町営住宅の在り方を「住み続けたい町」へつなげる制度ととらえ、委員会では7年7月14日に現地視察を実施しました。

老朽化した建物や和室中心の間取り、退去時の高額な修繕費など、若年層や子育て世帯のニーズと合致しない実情を確認しました。



定住促進を目的とした入居基準の見直しを早急に進めるべき。

委員長
足立 吉継



これらの課題を考慮して、委員会ではリノベーションの可能性や長期的なコスト試算も含め、多角的な検討を進めました。

近隣自治体の先進事例や民間賃貸住宅の動向調査を実施し、若年層・子育て世帯への具体的な住宅ニーズの把握に努めました。

住まいから始まる 多可町の未来

視察を参考にして、委員会では7年9月9日に提言をとりまとめました。

修繕費の一部を助成する定住支援制度や、町内企業と連携した空き住戸の社員寮活用、若者世帯向け住宅の洋室化など柔軟な支援策を提案。さらに、お試し住宅制度の見直し、移住促進のための情報発信強化など、町営住宅を「選ばれ



自然がいっぱい多可町ライフ — 千ヶ峰山頂 —

る定住インフラ」と位置づける制度改革を求めました。

これらの提案は、単に住宅を提供するだけでなく、入居者と地域のつながりを深め、多可町での暮らしを実感できる仕組みづくりを重視しています。

委員会では、他自治体の成功事例も参考にしながら、多可町の特性を活かした持続可能な住宅政策の実現を目指しています。

町営住宅を、多可町での安定した生活を築くための足場に。

副委員長
藤原 清勝



このまちが 大好き



村岡 省吾さん

加美区豊部にお住まいの村岡ご夫妻が社会福祉協
議会の買い物ツアーボランティアとしてお手伝いを
されていると聞き取材しました。



取材に行くと快く優しい笑顔で出迎えていただき、村岡ご夫妻の仲の良さが伝わってきました。

多可町は「敬老の日発祥のまち」です。

ますます高齢化が進む中で、地域共生社会の実現が求められています。

各地域でもいろいろな取り組みが生まれていますが、さらに村岡さんのように元気な高齢者のボランティアが増えればいいですね。

Q ボランティア活動を始められたきっかけは。

A 豊部に移住して19年経ちますが、当時は何もすることがなく、社協に相談に行きました。すると始まったばかりの買い物ツアーボランティアを紹介いただきました。ボランティア歴も19年になります。(笑)

Q この地に移住を決められたのはどのようなことでしたか。

A 大都市大阪育ちなので、田舎暮らしに憧れて、ちょうどいい田舎の多可町を選びました。

Q 長くボランティアを続けられる秘訣は何でしょうか。

A 妻は以前、子育て支援のボランティアをしていましたが、今は私と同じ買い物ツアーボランティアの介助員をしています。このボランティアは運転手と介助員の二人組で行いますので、夫婦で刺激し合いながらできていると思います。(笑)

Q 今後の目標をお願いします。

A この町が大好きなので、いつまでできるか分かりませんが、夫婦円満で楽しくやっていきたいです。

今回の表紙

多可高校創立50周年

第10回高校生議会

私たち議員はいつもは質問する立場ですが、高校生議会では答弁を担当します。行政の大変さを痛感する瞬間です。

若い世代の貴重な質問をしっかりと受け止め、政策に反映していきたいと思っています。



村岡さんの活動写真
(社会福祉協議会の車を運転)

編集後記

今年の夏も暑かったですね。皆さんお元気ですか。

現メンバーでの議会だより編集は、最後を迎えました。

少しでも見やすい広報になるよう紙面を工夫しました。また住民の皆さんには、コメントをいただき、紙面作りにご協力していただき本当にありがとうございました。

これからも、皆さんの声を紙面に載せる機会が増えればと思っています。

(廣畑)

議会広報編集特別委員会

委員長

委員

委員

委員

議長

副委員長

廣畑幸子

藤本一昭

笹倉政芳

藤原清勝

足立吉継

日原茂樹

内橋志郎

(欠席)